

第2回須坂市学校給食センター運営委員会 会議録（要旨）

1. 開催日等

日時 2025年2月17日(月) 13時30分～14時55分

場所 須坂市学校給食センター2階会議室

2. 出席者

運営委員10人（欠席者3人）、事務局7人、運営委託事業者1人

3. 配布資料

会議次第、2024年度学校給食センター事業報告、2025年度学校給食用物資納入業者指定関係資料、食物アレルギー対応食関係資料、長野県学校給食優良学校等表彰資料、雑誌「学校給食」須坂市掲載記事

4. 協議状況

（1）開会

（2）教育長挨拶

（3）会議事項

①2024年度学校給食センター事業報告

②2025年度学校給食用物資納入業者の指定について

・審議の結果、申請のあったすべての事業者を承認した。

③食物アレルギー対応食の提供について

【質疑】

委員：新入生の対応を早くやってもらえるのはありがたい。

委員：面談の1回目を早めるには、保育園や幼稚園との関係もある。

事務局：学校では「園・小連絡会」があるので、そこでの情報共有は可能と思う。

今までは、小学校入学後に、児童の生活の様子を見てよくわかっている先生も一緒に面談するということで、提供開始は2学期からとしていた。開始時期を早めるということであれば、来年度は7月からなら可能だと考える。来年度は7月から提供可能として対応する方向で進めていく。

④物価高騰に係る学校給食費の保護者負担軽減について

事務局：給食の質や栄養価を落とさずに提供するため今年度から給食費を値上げしたが、保護者負担軽減のため、値上げした分の約2,400万円は市で公費負担している。2025年度も同様の方針。さらなる公費負担については現在検討中。予算が決定したら保護者に通知していく。

委員：来年度は国の交付金が活用できるということでもありがたい。2026年度以降も国の交付金は継続されるのか。

事務局：現時点では、2026年度以降の国の交付金のことはわからないが、国の動向を注視していく。

⑤長野県学校給食優良学校等表彰の報告

⑥食育の実践について

⑦その他

【質疑】

委員：食育に関して、栄養教諭の2人には、学校で子どもたちや保護者にも直接話してもらえて本当にありがたい。子どもたちが献立作りをやって、保護者にも意見をもらうというのを挟み込んでくれて、家庭でその献立が話題になる形をとっていた。食育を進める上では家庭がベースになると思うので、家庭を巻き込んだ非常に良い活動を進めてもらっている。

委員：毎年、全校一斉に朝の15分間、栄養教諭に食育の講演をやってもらっている。なぜ毎日牛乳が出ているかという話をしてもらった後は牛乳の消費が一気に上がったので、非常にありがたかった。

運営委託事業者：子どもたちが給食センターに見学に来た時に、いかに喜んで帰ってもらえるかを考えて工夫している。施設に入った瞬間に、おもしろそう、楽しそうと思ってもらえる、温かみのある場所にしようということをコンセプトにしている。市民に愛される施設づくりに少しでも協力できれば良いと思っている。

事務局(教育長)：東中学校の実践は素晴らしいし、民間の力を借りて作り上げている給食センターの成功事例としても雑誌に掲載されている。こういうことを大勢に知ってほしい。学校で保護者と食育の話をするときには、給食センターでこういうこともやっているということを伝えてほしい。どこも一生懸命やっているとは思いますが、これだけ素晴らしいセンターであることを自負しても良いと思っている。委員の発言にもあったが、食育は、家族を巻き込んでやっていかないとならない。学校のエリアという与えられた場所の充実だけではなく、家庭も巻き込んで、もっと広くやっていくことが大事だと思う。そのためにはどんな方法があるかということ、今後、運営委員会でも知恵を絞ったりしてやっていくことも必要で、これからも大事にしていきたい。

(4) 事務連絡

(5) 閉会